

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画に詳細なケア内容及びADL、IADLなどの有する能力の評価を行っているのだが、今後は「有する能力、原因、要望できそうな事」等も含め、アセスメントへの記入を増やしていく事とする	アセスメントシート内容の見直しを行い、アセスメントシートの内容と介護計画の詳細なケア内容を連動させる	アセスメントシートにIADLなどの有する能力の評価及び「有する能力、原因、要望できそうなこと」等を詳しく記入する欄を追加し、その情報を元にケアプランを作成していく	12 ヶ月
2	36	ご利用者への言動が強くなる時は、職員同士で注意し合い、職員個々にケアの在り方や言動を振り返り「①明るい笑顔②思いやる心③気を配る心④優しい言葉掛け」という“4つの薬”の実践に繋がっていききたい	常にご利用者への尊厳を念頭に置き、正しいケア正しい言動に心掛ける	毎朝、その日一日、正しいケアや正しい言動に気を付けるようご利用者、職員共に“4つの薬”「①明るい笑顔②思いやる心③気を配る心④優しい言葉掛け」を唱和し、実践に繋がっていく	12 ヶ月
3	40	家庭的な雰囲気の中で、ご利用者の「やる気」を引き出す言葉掛けや事柄を発掘していく。特に食事に関して、家庭菜園を行っているので収穫を楽しんだり、食事の支度など「やる気」を引き出すような言葉掛けを行い、できる事を増やしていきたい	食に関して、一人でも多くのご利用者の方のやる気を引き出し、何らかの役割を増やしていく	家庭菜園を行っているので、野菜を収穫したり、収穫した野菜での献立を考えて頂いたり、食材の下ごしらえ(皮むき、食材切り等)や下膳を手伝って頂く、後片付けの食器拭き等、できる範囲で役割を決め行って頂けるよう実践に向け声かけ行っていく	12 ヶ月
4	49	1日の中の30分程の気分転換の外出や1ヶ月に1度程ご利用者の住みなれた付近やなじみの場所などへのドライブを兼ねた外出支援に取り組んでいく	週に1度は、ご利用者全員が外気浴ができるよう、希望する方には、自宅周辺の住み慣れた場所やなじみの場所にお連れし気分転換を図っていく	日々の外出支援は、毎朝のラジオ体操を週に1度室外で行ったり、中庭をお散歩したりと外気に触れる。月1回の外出支援は希望者を対象に予定を立て、その方が行きたい場所やなじみの場所にお連れする	12 ヶ月
5					ヶ月